

使っている花 ■ アンズリウム(ルミナ、マキシマビオレッタ)シースターファン、イグサ、シロシマウチワ

8月  
August

WEEKEND  
FLOWER

## アンズリウム

花言葉 情熱/恋にもだえる心

異国情緒ただよモロッカンスタイル  
舞い咲く踊り子のように魅惑的に飾って

### プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花(仏炎苞)に傷がないものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくいので、アンズリウムだけでいける場合は頻繁に水替える必要がなく、手間のかからない花です。
- 低温に弱いので、エアコンの風などに直接当たらないよう気をつけましょう。
- 湿度の高い地域に生息する植物なので、ときどき霧吹きをするとよいでしょう。

### お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①大き目のトレーの上にガラスの器を複数並べ、それぞれに水を入れます。
- ②扇のようなシースターファンを入れ、次にアンズリウムを高低差をつけながらリズムカルにいけていきます。
- ③最後にイグサを数本飛ばすようにあしらいます。シロシマウチワ(アンズリウムの葉)のような肉厚の小さな葉は、グラスの水に沈めるだけで涼しげなインテリアに。ぜひお試しを!

### ハートの花をモロッコ風に

熱帯を代表するサトイモ科の植物。エナメル質の部分は仏炎苞、中心の棒状は小さな花が集まる肉穂花序(ノーズ)といいます。シックな濃色や複色系、苞とノーズのコントラストが美しいもの、アレンジしやすいコンパクトサイズの品種が人気。ハワイでは“Heart of Hawaii”と親しまれ、大切な人に贈る愛の花。部屋に飾ると恋愛運や結婚運がアップするとか!?

